

## 緊急事態宣言の発出に伴う横浜市の対応について

緊急事態宣言の発出に伴い、本日、横浜市新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、横浜市は、8月2日から8月31日までの間、次のとおり対応することを決定しました。

### 1 市民利用施設の予約の停止について

宣言期間中の施設利用の新規予約受付を停止します。

### 2 市主催等のイベントの収容人数の制限について

人数上限を「収容率50%以内かつ上限5,000人」とします。

※詳細以下のとおり

市民利用施設	現在の主な対応（まん延防止等重点措置）	8月2日からの対応（緊急事態宣言）
利用時間の短縮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用時間について、原則20時、ただしイベント開催時は21時までとする</li> <li>酒類提供は終日完全停止(持込み含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用時間の短縮</li> <li>酒類提供の終日完全停止</li> <li>原則として、宣言期間中の施設利用の新規予約を停止</li> </ul>
キャンセル料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>措置期間中の上記時間をまたぐ利用枠の予約について、取消を申し出たものは、キャンセル料を徴収せず、事前に納付されていた利用料等を返還。</li> </ul>	引き続き実施
徹底的な感染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な感染対策に加え、施設内外に混雑が生じることが無いよう、集客に応じた入場制限などの入場整理を徹底</li> </ul>	
会食自粛の注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に対し、利用前後の会食自粛など、リスクの高い行為への注意喚起</li> </ul>	
市主催等のイベント	現在の主な対応（まん延防止等重点措置）	8月2日からの対応（緊急事態宣言）
開催基準の制限等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①と②の小さい人数を上限</li> <li>①収容率：歓声・声援等 無し100% 有り50% ②人数：5,000人以下</li> <li>原則21時までの開催・イベント前後の会食自粛を周知</li> <li>酒類提供は終日完全停止(持込み含む)</li> <li>施設内外に混雑が生じないよう、集客に応じた入場制限等の入場整理を徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数上限 上限5,000人かつ収容率50%以内</li> <li>開催時間等の短縮</li> <li>酒類提供の終日完全停止</li> <li>入場整理の徹底</li> </ul> <p style="text-align: right;">引き続き実施</p>

### 3 林 文子 横浜市長コメント

本日、政府は、神奈川県に8月2日から8月31日までの間、緊急事態宣言を発出することを決定しました。感染が急速に拡大している現状においては、やむを得ない決定だと思います。

本日の横浜市の新規感染者数は、過去最多に迫る540人です。直近1週間の新規感染者数は2,025人となり、前週と比べて141%と大幅に増えています。

横浜市内で確保している病床554床の稼働率は、約52%です。熱中症による救急搬送も増えており、これ以上の感染拡大が続けば、コロナ対応のために、通常医療を抑制せざるを得ない事態になりかねません。私たちは、何としても、ここで感染拡大を食い止めていく必要があります。

市民の皆様には、お願いいたします。

- 生活に必要な場合を除き、外出を自粛し、基本的な感染防止対策を徹底してください。今、オリンピックも無観客で開催されています。ご自宅からの応援が、感染予防につながります。
- 感染リスクが高い場所や混雑している時間を避けて行動してください。

また、事業者の皆様にも、お願いいたします。

- 飲食店は、酒類提供を終日停止してください。
- テレワークやローテーション勤務、時差出勤、昼食時間の分散化など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組を推進してください。

7月28日現在、約68万人の高齢者の皆様は2回目のワクチン接種を終えており、明日までに、希望するすべての高齢者の皆様への接種が完了する見込みです。おかげさまで効果が出始めており、陽性患者さんに占める高齢者の方の割合は、今年2月時点で31%でしたが、今月は、実に6%と大きく抑えられています。今後も、希望するすべての皆様が接種を受けられるよう、国から、必要となるワクチンをしっかりと確保し、ワクチン接種を着実に進めていきます。

横浜市は一日も早く、かつての日常を取り戻すことができるよう、今後も、ワクチン接種をはじめとする感染症対策を最優先に、力を尽くしていきます。また、事業者の皆様からの特別経営相談を受け付けています。引き続き、事業者の皆様へのご支援にも全力で取り組んでいきます。市民の皆様、事業者の皆様とご一緒に、何としても、今の状況を乗り越えていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。



【横浜市新型コロナウイルス対策本部会議より】

お問合せ先

総務局緊急対策課長 木村 正夫 Tel 045-671-2170